

真宗大谷派  
高徳寺通信

2017年夏号



# 帰敬式を受式して 仏弟子となりました

今年も現時点です3人のご門徒(当寺)の方が帰敬式を受けられて、お釋迦さまのお弟子となられました。帰敬式は昔から「おかみそり」とか「おこうぞり」という名前でも呼ばれており、ご本尊(本山では親鸞聖人のご真影)の前で、三帰依文(さきよゑいもん)を唱和し、執行者から「おかみそり」(剃刀)が3度頭にあてられます。(実際に髪を剃ることはありません)仏さまの教え(仏法を聴聞して、南無阿弥陀仏(ナニマニダブツ)を依り)として生きる者となる儀式を言います。

帰敬式を受式すると「法名」がいちだけます。法名は、お釋迦さまのお弟子となつて生活の中で仏法を聴聞していく人の名前です。そこで、「釋」の字がつきます。(釋義祐とか: 釋〇〇といふ三文字(女性は大谷派では釋尼〇〇となります)です)三帰依文といふのは、法に目覚めた「仏」(お釋迦さま)と、お釋迦さまが教えてくださった「法」と、その仏法を依りどころとする仲間・集う場である「僧」(僧伽)の「三宝」(三つの宝)を大切なものとして生きていくます。という内容の文章で、大内青戀(大正時代・仙台生まれ)とう方が三つのお經の言葉を集めて作られたといわれています。



◆帰敬式受式直後のショット。御影堂(じえいどう)内は撮影禁止なので、回廊から…。奥にはしんらんさまが…。

“おかみそり”（剃刀の儀）は、「名聞」（世俗の評判）「利養」（自己中心に取り計らう）、「勝他」（他に勝ちた）と、こう三つの誓を断ち切るという意味があります。ひげや髪の毛が切っても伸びてくるように、生きている間は断ち切ることなど出来ませんが、そういう私が仏弟子となる儀式です。

ご門徒3人のうちお一人は、1月に真宗会館（練馬区谷原にあります）と、こうして受式されました。2人の方は、「真宗入門講座」（前期は真宗会館、後期は京都・東本願寺でそれぞれ2泊3日）の後期で受式されました。（前ページのお二人）

石井玉枝さんは、当寺総代さんの奥様で、ご主人が先に前期に参加されました。が、都合が合わず、奥様の方が先に後期まで受けることが出来た訳です。（これもご縁ですね……）2泊3日、自宅を離れての「別時修行」は、本当に有意義な時間であり、大切な“場”であります。

山野晃さんは、昨年9月に、亡くなられたお母様の七回忌の法事を営まられたこと、昨年亡くなられたおじ様のこと、その他、ご本人にしか



◆「帰敬式」を受式希望の方は、住職までお声を掛けてくださいね。

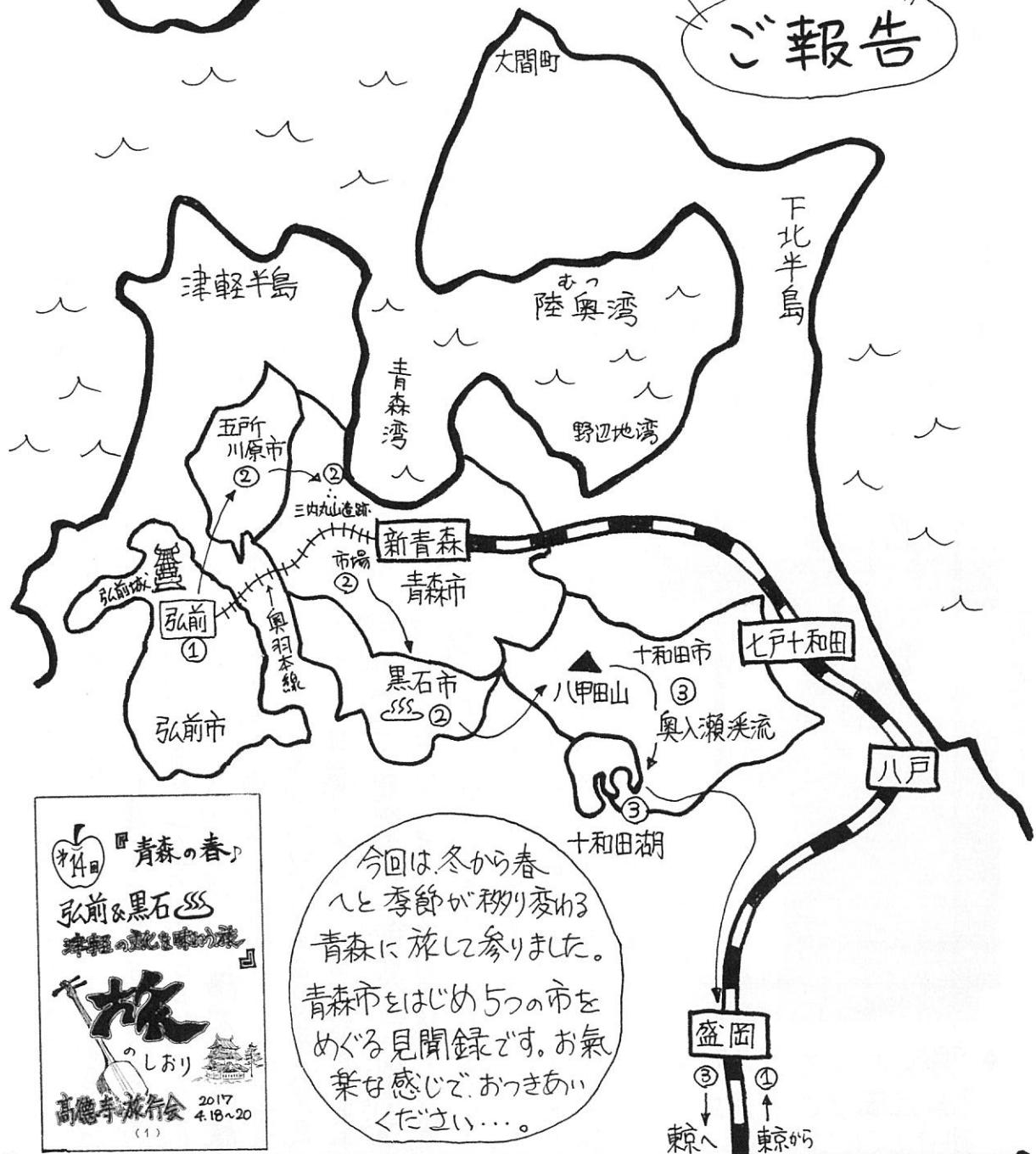
分からぬ不思議なご縁があつたことでしょう。「住職、帰敬式を受けたいのですか……」とお声掛けを頂きました。お仕事もされてますし、いろいろとお忙しいとは思いますが、一生の中で6日間なんとかやりくりしていただき、「真宗入門講座」と受講し、本山で帰敬式を受けられるのがオススメですとお伝えしたところ、縁が成、就して今回受式を頂きました。京都生まれのお母様のお骨の一部は京都・東本願寺の御影堂（の親鸞聖人御真影の須弥壇の下）に收骨されていて、晃さんは、お母様と親鸞聖人の御前で、おかみそりを受けられて、法名をいただきました。身体中に電流が走ったようでした。ただかれました。「身体中に電流が走ったよ」とでも感動いたしました。と感想を述べた彼の眼から、一節の涙が落ちていくのが見えました。住職の私も大変嬉しく、かつ、感動的な帰敬式がありました。



第14回

『青森の春・弘前＆黒石巡  
津軽の文化を味わう旅』

ご報告



今回は、冬から春へと季節が移り変ゆる青森に旅して参りました。青森市とはじめ5つの市をめぐる見聞録です。お気楽な感じで、おつきあいください…。



◆「はやぶさ9号」青みがかったグリーン色。東京→新青森は2010年5月1に開通したそうだ。  
カモハシ・ノーズがかわいい!

旅行会一行14名は、東京駅9:08発の東北新幹線“はやぶさ9号”で一路、新青森駅をめざす。3時間20分後乗換のため奥羽本線のホームへ移動する。さすがに東京の格好では寒い！発“つがる千号”で弘前駅へ向かう。

約30分で到着。そ

のまま本日の宿ドーミーへ

へ向かう。青森銀行記念館とある。これは1904年（明治37年）に建設された。

旧第五十九国立銀行本店で、國の重要文化財なのだ。さうした

部が上下に広い。これは冬に雪が踏み固められてしまつて普通の高さだと、槍が鳴居に当たってしまうので、あらかじめ高くしてあるそう。お堀の桜は、うすすらピンク色になつてゐる。23日からの

桜まつりの時に来たかたが、ものすごく人出が予想されるので、少し早めに訪ねた…。満開は挙めなかつたが、ほほ、貸し切り、状態でゆったりと見てまぬかる4月10日が「石垣解体は式」だつた。巨大なクレーンで石垣をバラして、いる作業を見ることができ来る。弘前城本丸の下の石垣に勝ち込みが確認されたの



で、平成27年7月5~9月にかけて、天守を70m本丸の内側へと曳屋する工事が実

る。天守の中に“曳屋工事”的コマ送りを含むビデオが上映させていたが、

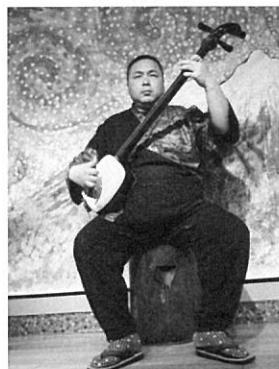
やあースゴかった。こんな



「りんご栽培の祖」でもあるそだ → スゴイですね、この方…



家から、管理  
の姿を見た。旧藩主、菊池植<sup>き</sup>吉<sup>きち</sup>は、染<sup>そめ</sup>井<sup>い</sup>千本<sup>せんぽん</sup>を植<sup>う</sup>えた。特に二の丸にある桜は樹齢<sup>じゆれい</sup>130年で現存するソメイヨシノでは日本最古だそうだ。桜の数は、約49万2000m<sup>2</sup>に52種類、2600本あるとう。



◆ 渋谷和生さん 演奏  
「津軽三味線世界大会」  
4連続優勝の実力者。

4月 18日	日	弘前城
1 日		藤田記念庭園
	↓	夕食「あいや」

テカイもの(天守)を2回も方向を変えながら移動させたなんて信じられない…。工事の技術もさることながら、曳屋に携わった方々や応援された人々にエールを送りたい。明治期の藩主に優雅な氣分になつた一行は、金賃で見聞をこなして、各自、さうに散策したり、戻ってホテルの温泉巡<sup>めぐ</sup>りに浸つたり、思い思ひの時間を過ごした…。再度集合

技術は日本一と称賛されている。弘前城の天守入場券には、藤田記念庭園の入園券もついていたので、そちらも見学する。日本商工会議所の会頭も務めた実業家である藤田謙一が大正8年に構える際に、東京から庭師を召してつくらせた江戸風な庭園だ。郷里である弘前市に別邸を建てた。ドーミーインホテルは日本全国に展開しているが、天然温泉があるのが良いところ。21時から23時まで「夜鳴き」というメニンが、宿泊者に限り無料で振る舞われるのも嬉しいサービスである。

ライブ終了後解散。弘前の夜は更けていた。ドーミーインホテルは日本全国に展開しているが、天然温泉があるのが良いところ。21時から23時まで「夜鳴き」というメニンが、宿泊者に限り無料で振る舞われるのも嬉しいサービスである。

4月 19日

2 日 目 弘前(ホテル)

↓ 五所川原、  
朝食と朝<sup>あさ</sup>と

翌朝は、生憎<sup>あいにく</sup>の雨。

バスに乗り込む。今日から2日間、十和田観光さんのバスにお世話になる。廿日市地ドライバーと高田ガイドのお二人、宜しくお願いします。五所川原の立佞<sup>たけむか</sup>山へ向かう。五所川原は、太田所である。ここから津軽中里と二ヶ所まで走っているそうだ。20kmの距離を約50分

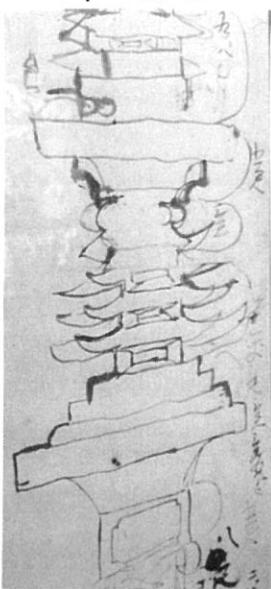
三昧線のライブが楽しめると、お店で夕食をとる。『貝焼味噌』と呼ばれる郷土料理等

(6)



◆巨大で色とりどりだ。

◆これが設計図！



からかの景色を味わったりする  
だとう：乗てみたいねばく。  
バスは国道7号・2kmにわたって  
桜並木が続く「つかの桜街道」  
を進む。左前方に岩木山(1625m)  
が見え、その手前を4両編成の  
五能線が通り過ぎて行った。あ  
長閑だなあ。この辺(白神山地)  
はブナの原生林。左右にはスチ  
ーベンとこうぶつ葡萄の畠が並んでる。  
9:30 口立伝武多の館に到着。  
巨大なねばくが五所川原の記  
録に登場するのは明治40年頃。

◆山車の台に書かれてる「雲漢」とは古い中国の言葉で「流星」の意味。

8:45 9ヶ月もかかるそ�だ。この建物の一部  
が開いて(サンダーバードの基地みたい!) 23m  
の山車がそのまま通りに出て来るのである。

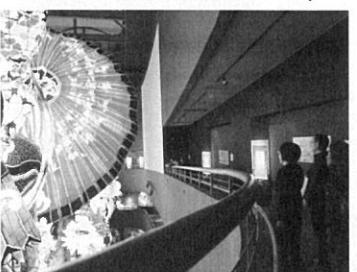
この日で見てみたことになった。驚きの気持ちを引きずったまま、一行は青森にある「魚菜センター」(古川市場)へと向かつ。ここでは「のつけ丼」と呼ばれてくる食事事が味わえるなどうで朝から樂しみにしていた。11:30 市場に到着。中に入ったうまさす食券を

4月 19日	2日目
↓立伝武多の館	青森魚菜セタ

「のつけ丼」の昼食



戦後、2度の大火で街が全焼し、設計図や写真が消失して巨大ねばくは姿を消した…。ところが平成5年に、ある家でたちねばくの設計図と写真が見つかり、翌年に8mの高さのねばくが復元され、その後、市民有志により「復元の会」が結成され、4年後、80年ぶりに立伝武多が復活した!!



◆あまりにデカイので、ねばくを囲む4F~1Fのスロープから、じっくりと味わう。カラフルでとても綺麗だ♪



購入する。5枚づり 650円から10枚づり 1300円から選ぶ。(ここで食べない人は買わなくてても大丈夫)お椀(カチ)を受け取り白飯を入れてもらう。券1枚渡す。ひと通り何が売られているかチェックしたら好きなものを伝えて、お店の人に自分のお椀に入れでもらう。大きな数の子としゃこ、ホッキ貝に帆立貝、イカの卵そして大間のマグロをのけてしまう。左・上から3枚目)場内にはところどころテーブルが設置されていて、空でいる所に自由に座って食べることが出来る。何をのけてもうつた々を仲間同士で見せ合い、分け合ひながら食べるのが楽しい。鮮度がバツグンで、どなたも皆、良い笑顔になっている。"のけ丼"は十人十色、具の好みがハッキリとわかる。満腹になら一行は、バスで青森県立美術館へ移動。バスに乗ったとたんに雨が降り出した。

4月 19日	古川市場
2 日 目	"のけ丼"の昼食
↓ 青森県立美術館	

No 001001

のけ丼食事券5枚  
650円

おたのしみ抽選券  
この券は、おたのしみ抽選券として、おもしろい企画や、おもしろい話題などを紹介する

◆これは5枚券。  
私は10枚券を購入。  
「この"のけ丼"ハイ  
券2枚ねえ~ってな  
感じで"のけ丼"が完成。



青森県出身で画家・彫刻家の青木淳氏の設計だ。印象に残ったのは、20世紀を代表するフランスの画家、「マルク・シャガール」(1887~1985)の大作、「アレコ」(バレエ)の舞台背景画の第4幕「サンクトペテルブルグの幻想」(1942年)と、デカイまっ白の大(高さ85cm)「あおもり、大」(奈良美智作)。どちらもスケールの大きな作品であった。各自ゆっくりと芸術作品に触れた。隣接する日本最大級の縄文集落跡「三内丸山遺跡」へも足を伸ばしてみる。ボランティアの謙訪さんたち方が案内してくれた。ここは今から約5500年前の縄文人が長期間に渡って定住生活を営んでいたところ。新しい県営野球場を建設するための事前の調査として平成千年から行われた発掘調査で住居跡や大人の墓、小人の墓、大型掘立柱建物跡などに加え、直径約1mのクリの木の巨木(柱)6本が見つかり、県は既に着手していた野球場建設を中止し



◆大型掘立柱建物の柱穴。6個あり。深さは2m以上、柱の間隔は約4.2mと一定で、長さの単位、尺度があとふだ...。

背景画の第4幕「サンクトペテルブルグの幻想」と、デカイまっ白の大(高さ85cm)「あおもり、大」(奈良美智作)。どちらもスケールの大きな作品であった。各自ゆっくりと芸術作品に触れた。隣接する日本最大級の縄文集落跡「三内丸山遺跡」へも足を伸ばしてみる。ボランティアの謙訪さんたち方が案内してくれた。ここは今から約5500年前の縄文人が長期間に渡って定住生活を営んでいたところ。新しい県営野球場を建設するための事前の調査として平成千年から行われた発掘調査で住居跡や大人の墓、小人の墓、大型掘立柱建物跡などに加え、直径約1mのクリの木の巨木(柱)6本が見つかり、県は既に着手していた野球場建設を中止し



◆生憎この日は清掃していた...。

かなか…?  
かなマ…?  
かなかマ…?  
え冬は寒い  
たううばや。  
雪かきしたの



4月19日	三内丸山遺跡↓
2日	黒石温泉
	花禪の庄

遺跡の保存を決定した。遺跡全体で東京ドーム8個分に相当する広さがあるそ、発掘は、まだ全体の30%しか進んでない

うである。現時点で発掘されたものの中で1958点が

国的重要文化財に指定

されていると、

う。これからもっと増えしていくんだろう

うなア…。この地は、くみみ

トチ・クリ・鮭等、食材が

豊富だた

らしい。とはい

うなア…。こ



歩くこと出来て良かった。  
良かっただ。  
気持ちは良かっただ。  
前でバスに乗る前に、  
金員でパチリ！



一行は縄文時代に思いを馳せながらバスに乗りました。宿泊地黒石までは23km、雨が強くなってきた。16時本日の宿「花禪の庄」に到着する。

身体を黒石の温泉巡りに浸って温めた後は、お待ちかねの宴会。例年にちがわず笑いの絶えない宴となつた。その後、会場を

部屋に移して二次会。全員で車座になつてのお喋りは盛り上がり、いつしか夜は更けていき…。

翌朝、雨は止んでいた。朝風呂

朝ごはんを頂いて、身仕度をする。

ここ、花禪の庄は館内がすべて置敷きなので、スリッパを履かずに



◆酸ヶ湯温泉！雪深い…。



きた。バスは国道103号線を進み、二面の銀世界の中を抜けて行く。標高1040mの笠松峠、あの有名な「酸ヶ湯温泉」の前を通じて少し行った時

山岳地ドライブがなんだよ」と一言。なんと、通行止めになつているう

4月20日	黒石温泉↓
3日目	八甲田山
	(国道103号)

八甲田山は：青森市南側に位置する火山群の総称。



◆酸ヶ湯温泉のしばに「地獄沼」…!!

4月20日

3日目

八甲田山  
十和田湖遊覧  
↓十和田プリンスホテル

手前には何の表示も無かったぞ。通りに通れば乗組みにしていた雪の回廊を味わえたのに…。きっと、夜中にかなり降り積もったのだろう。これから谷地温泉までの、わずか8kmの間に積雪で船の時間が通り抜けた。やむを得ず別ルートで十和田湖を目指す。遊覧船の時間があり、遅れる訳にはいられない。この「プリンス」には少々焦る。撫の原生林を行く。撫には「木」とこの利用価値はほとんどのない。そうだが、水分を多く含んでいるので「木のダム」と言われていて、その東にまた「水」は帆立貝や牡蠣の養殖には最適なのだ。どうした。外の景色が変わってきた。奥に入瀬川の溪流が見えてくる。青森県十和田市十の4kmの奥入瀬川の溪流である。窓の外は水墨画から水彩画へ。



雪を沢山見てきたせいか、太陽の光に輝く水面や鮮やかな緑を見て、ると、「春だ！」と思わず口にしてしまう。溪流に沿って遊歩道が通っているので、トレッキングをする人や観光客が川の流れや苔、滝を見ながらバスのすぐ横を歩いている。そうこうしているうちに十和田湖が見えてきた。出発時間の3分前、ギリギリに到着した。バスを降りて、遊覧船に乗るためにバスでめずかに移り込んだ。なんと客は我々だけである(笑)貸し切りだ。

休屋から「休屋」へ戻るコースで約50分、様々な形の島を眺めたり、白い雪をまとった山々を味わったり、熱いココロをすすめたりと、各自由思ひ思ひに過ぎなかった。

十和田湖 & 山々のロケーションにとてもよく合う「ショット」である。などこの「ショット」は、十和田湖のまわりである。なにこの優雅なひと時を味わった一行は、昼食を取った後にバスでめずかに移動して、「十和田プリンスホテル」を訪れた。

◆十和田湖の冷たい風の中でも、太陽の陽射しがじんわりとして…ハイ、チーズ。



十和田湖  
東湖  
中湖  
西湖  
休屋



◆島に生えている木々が日本のいろいろな形をしています。飽きない。

十和田湖畔子ノ口から焼山まで、の4kmの奥入瀬川の溪流である。窓の外は水墨画から水彩画へ。レストランも我々しかおらず、貸し切りである♪一に行には場違ひな程静かで、内容は、有名な「ヒメヌカ」や季節の野菜をアレンジした「十



◆ ホテルの配慮で2名席×ア♪



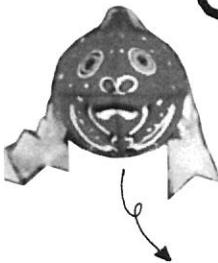
◆ テーブルからの景色。

4月20日	3日目
↓ 盛岡駅	十和田アリスホテル
東京駅(解散)	↓

十和田湖が一望出来る千人掛けの席に2名ずつ座らせていただき、最後のランチに相応しい至福の時(さあやか大袈裟)を過ごさせていただいたことは、本当に有ること難いおかげさんだとつくづく思う。

◎ 来年も"旅行会"を企画したいと考えております。ご興味のある方は是非ともご参加して頂きたいと思います。住職が心を込めて幹事役をさせていただきますので検討の程、宜しくお願ひいたします。  
釋義祐

### おまけスナップフォト



# ひ がん え 秋彼岸会

9月

20(水)～26(火)

この一週間がお彼岸期間です。

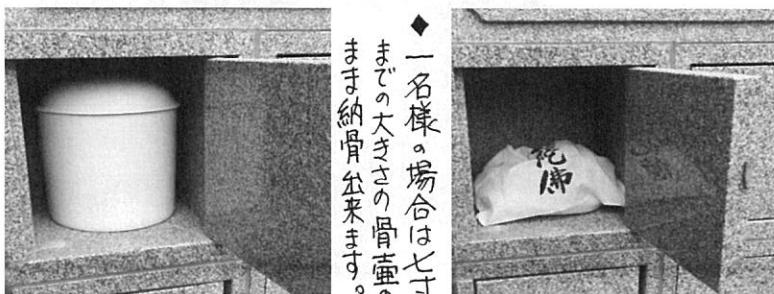
◆ 9/23(土・秋分の日)

彼岸の“お中日”(太陽が真西に沈む日)です。11:30より本堂にて。

『彼岸会の法要』が勤まります。お誘い合わせの上、お参りください。

\* 9/23(土)と24(日)、新白石記念ホールが「お休み処」となります。

(お待ち合わせや休憩場所としても、ご利用ください。)



◆ 一名様の場合は七寸  
までの大きさの骨壺  
まま納骨出来ます。

◆ 二名様以上、四名様  
までは、袋にお移して  
納骨出来ます。

お墓を建てる必要がありません。  
20年間ご利用いただけます。  
※延長することも出来ます。  
お問い合わせは当寺まで。  
お入り(納骨)いただけます。お問  
い合せは当寺まで。

新しいかたちの  
お墓が誕生  
いたしました

帰西廟

# Syaksons

シマクソンズ  
ライヴ

## Live

～チャリティライヴパーティー のじ案内～



お一人様 ¥1000-

(中学生以下は無料です♪)

¥.30 (日)

16:00～開場

16:30～マジックショー

17:00～ライヴ (寺西聰さん)

(20:30 終了予定)



\* 当日の収益金及び  
「義援金BOX」内の募金  
は、真宗大谷派・災害  
ボランティア部門へ  
寄附させていただけ  
ます。お誘い合わせ  
の上、遊びに来てく  
ださい!

◆ 2016年のライヴパーティーの模様。今年もお待ちしております♪

【シマクソンズ】～住職が参加しているお坊(13)さんバンドです。

高徳寺新井白石記念  
ホールの地下1階で  
やります。

2017年の

ほう おん こう  
報恩講

は  
10月21日(土)

です。



かい ほう りゆう  
海 法龍 先生

(横須賀・長願寺住職)

◆ 高徳寺 報恩講はどなたでもご参詣  
出来ますので、ご都合つきましたらお誘い  
合わせの上、お参りください。

# お磨き御礼

2017年  
3月12日(日)

新井 了吾さん  
新井 由真さん  
海東 雅子さん  
清水 和美さん  
菅原 恵子さん

崇島 晓美さん  
塙田 和子さん  
塙田 太郎さん  
寛谷 恵美子さん  
水越 拓路さん

柳澤 佐智子さん  
山野 晃さん  
山野 純弥さん  
山野 暉士さん  
(あいづえお順)

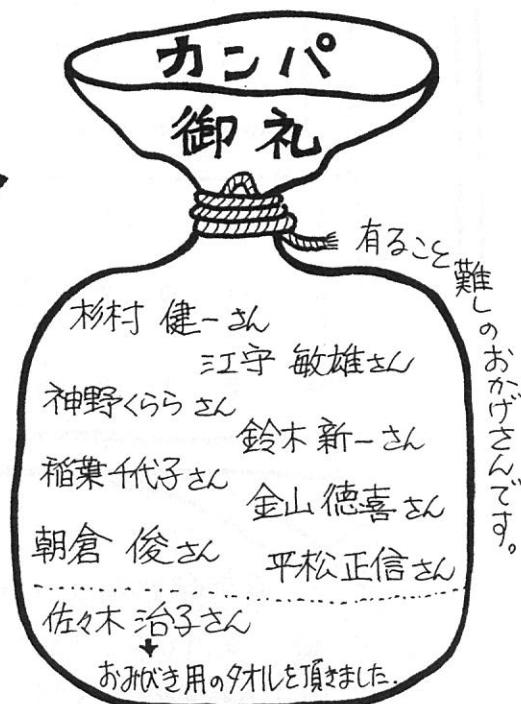
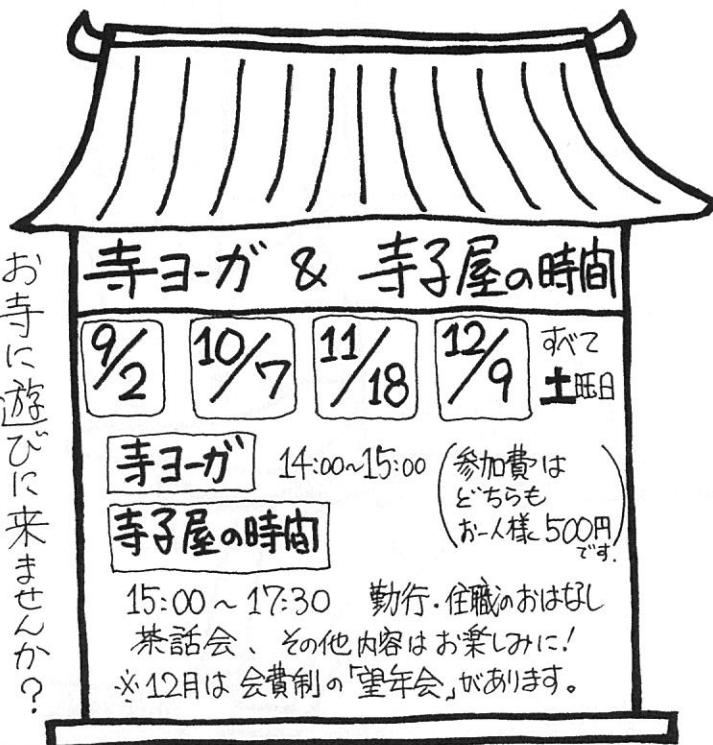
※今年はあと2回あります。

- ◆おかげさまで仏具がピカピカになりました♪
- ◆年に4回(毎回14時~本堂にて)どうせたどもご奉仕いただけます。
- ◆動きやすい格好で、エプロンをご持参ください。

※12月のみ、終了後に“望年会”を開きますので  
ご参加いただけます方は、寺に連絡をください。

9/10(日)

12/17(日)



※8月はお休みします…。



今回も鮮明  
ご厚意で、  
立佞武多印刷(株)  
様です。有ること難し  
ました。号を発行すること  
と書きました。

OKAGESAN

先日、自動車を運転している時に寺報のことを考ふて、バーっとしていたら、道を間違えてしまつた……。あれ? どこへ行くんだっけ……? 「ああそうだ、郵便局だつた……」何でもそうであるが、乗りものに乗つてどこかへ行く時(あてのない旅以外なら)は、目的地が分かっているものである。そして、そこまでのチケットが必要になつてくる。

我々の“人生”を同様に、乗りものに乗つてゐるとしたら、目的地はいったいどこなのだろうか? 自分にとつての一大事は、“自分がどこに向かつて歩んで(進んで)行くのか?”を問い合わせ続けることではなつだろうか。持つてゐるチケットに目的地が記されてゐるかどうか、お盆を縁として仏法に聞いて参りたいと思う。

アーヴィング

私は正しい

争ひの根は

発行日 2017.7.13 『表紙の絵』  
発行 真宗大谷派 高徳寺  
編集 住職 新井義雄 「立佞武多」  
◆法語……  
京都・東本願寺で  
目にとまつたことは  
あれば出来

T164-0002  
東京都中野区上高田 1-2-9

03-3368-6947

FAX 03-3362-8019 \*高徳寺ホームページあります。